芝田沙季 SHIBATA SAKI ミキハウス

オリンピックに出場したい

昨年のアジアランキング4位と日本人最高位を誇るランキングとなる石川佳純選手（全農）、ワールドツアーで中国選手に勝利をおさめるなど躍進している伊藤美誠選手（スターツ）、ダブルスで銀メダルを出している平田仁也美選手（日本生命）と、これまでレベルの高い選手がそろった時代は卓球王国の選手たちを振り返ってもそうないであろう、そしてその中に芝田沙季選手（ミキハウス）が挑もうとしている。

さらに強くなるためにミキハウスへ

小学校から名門クラブチームの出身で、全国大会でも活躍、そしてカデット一般の時には史上最年少で全日本選手権に出場するなど、華々しい経歴を持つ芝田選手。ミキハウスに入社する前の2016年度は、ワールドツアーで4勝、アジアランキングは17位（12月時）と、日本人選手としては5番目で、世界を舞台に戦える位置にいる。

「いとこの父親と兄が卓球をしていたことがあり、ボール拾いをしたのが卓球との出会いです。その時から楽しいと思っていて始めました。小学生時代はバンビ、カブでベスト8に入ったくらいで、全国大会で優勝するというレベルではなかったです」と語る。

中学生年生の全国中学校大会女子シングルスで史上初となる3連覇を達成した前田美優（現・日本生命）に敗れ、悔しい思いをしたものの、ベスト4入り、オープン戦ではあるものの、ベスト4入り、オープン戦ではあるものの、ベスト4入り、オープン戦ではある